

TOTO

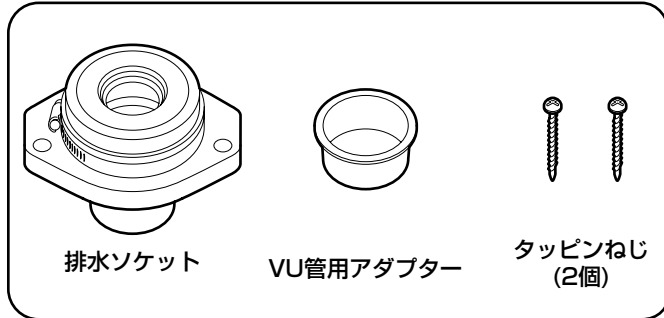
施工説明書

排水ソケット (塩ビ管用)

T64SP型
T64S1P型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
※鉛管用の場合は、裏面をご覧ください。

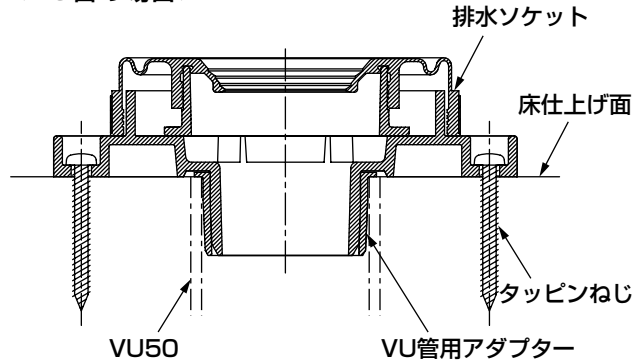
1 部品の確認



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

2 完成図

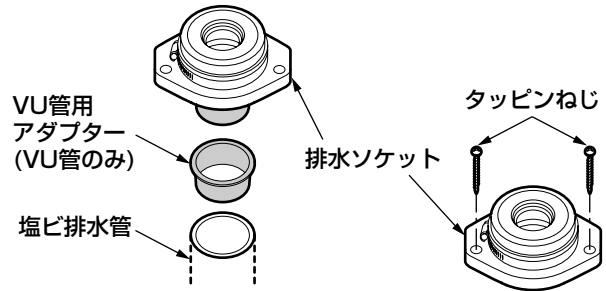
<VU管の場合>



3-2

2 排水ソケットの固定

- 排水ソケットの差し込み部外周に塩ビ用接着剤を塗り塩ビ排水管にいっぱいまで押し込む。
(VU管の場合、アダプターの内・外周両面に接着剤を塗ってください)
- 排水ソケットを塩ビ排水管に差し込み、タッピンねじで十分締め込む。



注意

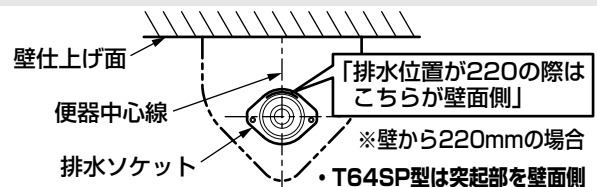
- 必ず排水ソケットの中心と便器の中心線を合わせてください。
- 排水ソケットはしっかり締め込んでください。水漏れの原因となります。

注意

重要

- 『T64S1P型の場合』
排水管の位置が壁仕上げ面より220mmの場合は、排水ソケットに表記されている排水位置が220の際はこちらが壁面側を必ず壁面に向けてください。
- 『T64SP型の場合』「かべ」と表記している方を必ず壁面に向けてください。

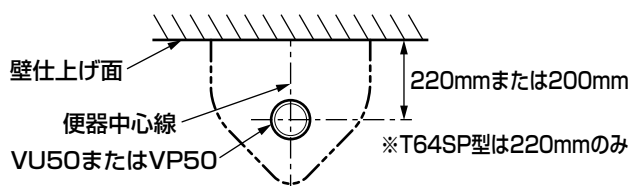
一度接着すると手直しができませんのでご注意ください。



3-1 施工手順

1 排水管の仕上げ

床仕上げ後、排水管の位置が正しいかどうか確かめる。



注意

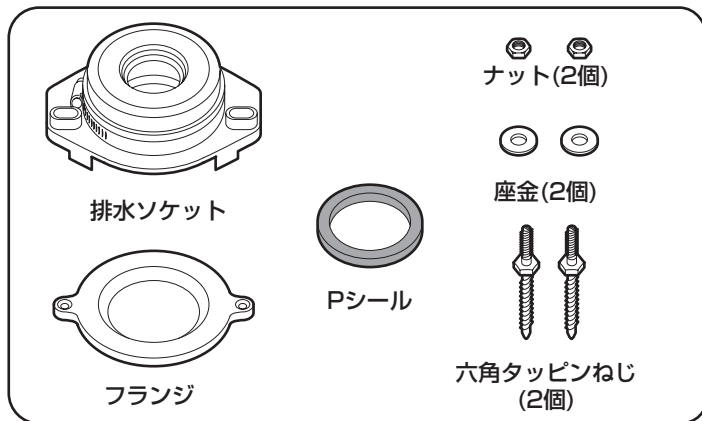
- 塩ビ配管の床仕上げ寸法は床仕上げ面と同一にしてください。
- 排水管の位置は小便器により異なります。

排水ソケット (鉛管用)

T64SW型
T64S1W型

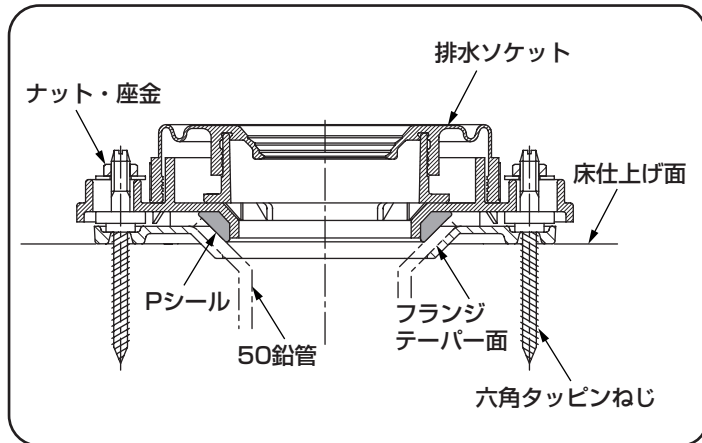
商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
※塩ビ管用の場合は、裏面をご覧ください。

1 部品の確認



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

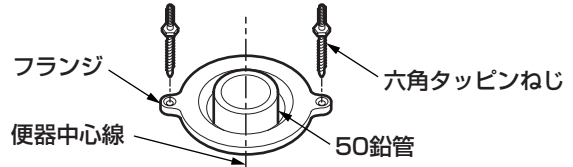
2 完成図



3-2

2 フランジの固定

①フランジを六角タッピンねじで固定する。



注意

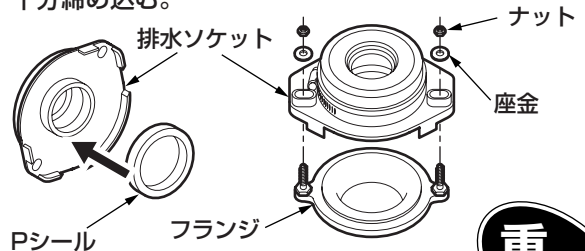
必ずフランジの中心と便器の中心線を合わせてください。

- ②鉛管をトーチランプで過熱し、タンピンなどを使って先端を膨らませる。
- ③フランジ面にそわせ、フランジ上部まで十分広げ、鉛管の上端をはんだ付けする。



3 排水ソケットの固定

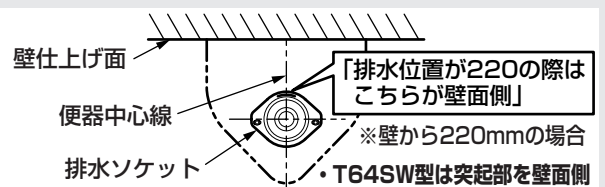
- ①排水ソケットの下面側(塩ビ側)のごみや水分を取り除き、Pシールをはめる。
- ②排水ソケットをフランジに取り付け、ナットと座金で十分締め込む。



注意

重要

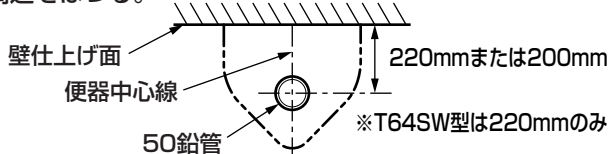
- 「T64S1W型の場合」排水管の位置が壁仕上げ面より220mmの場合は、排水ソケットに表記されている排水位置が220の際は**こちらが壁面側**を必ず壁面に向けてください。
- 「T64SW型の場合」**「かべ」と表記している方を必ず壁面に向けてください。**
- 必ず排水ソケットの中心と便器の中心線を合わせてください。
- 排水ソケットはしっかり締め込んでください。水漏れの原因となります。



3-1 施工手順

1 排水管の仕上げ

- ①床仕上げ後、排水管の位置が正しいかどうか確かめる。
- ②フランジのテーパ部が床の中に入るように、排水管周辺をはつる。



注意

排水管の位置は小便器により異なります。

- ③鉛管を床仕上げ面から約15mm残して切断する。